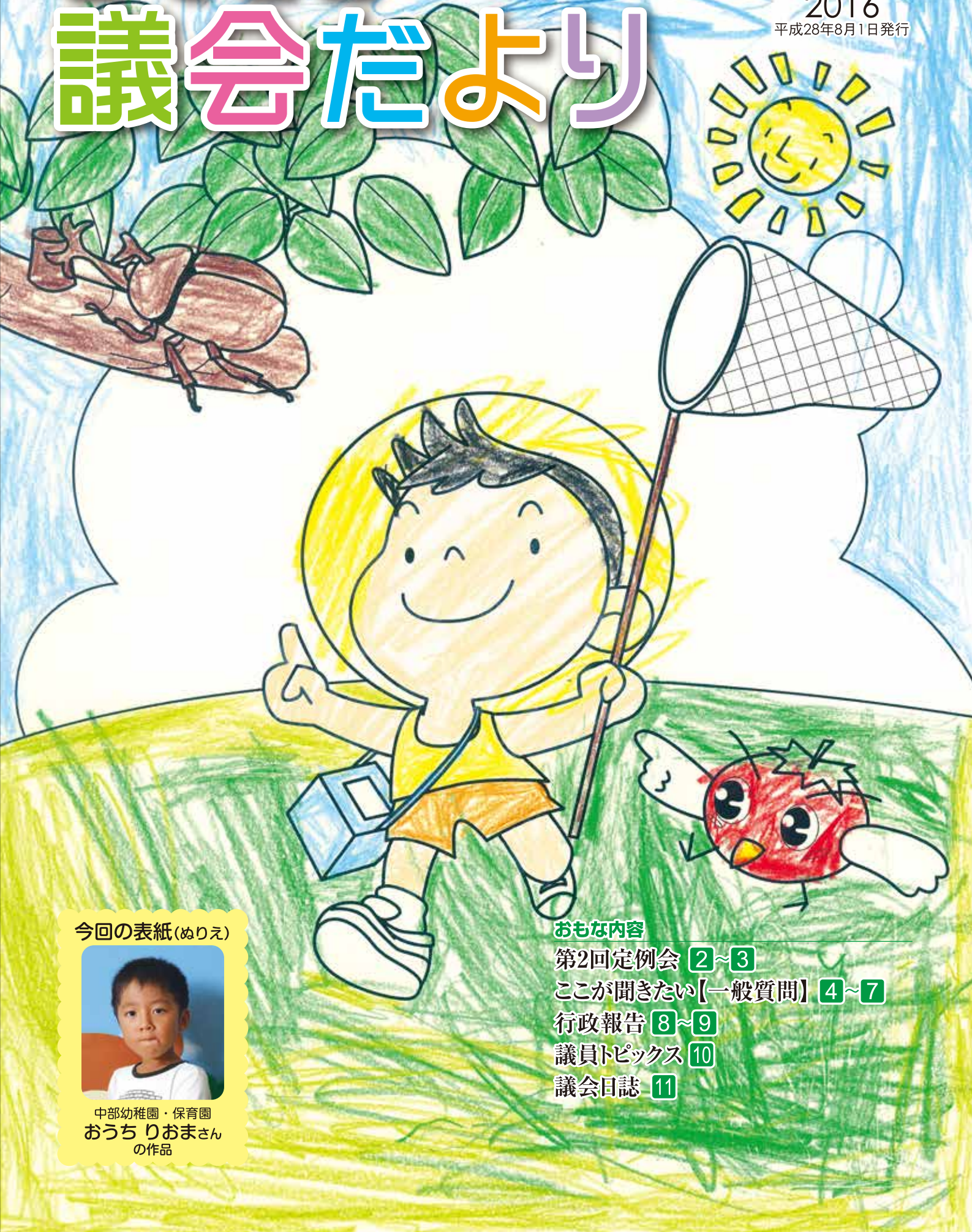


# きそさき 議会だより

VOL. **88**  
2016  
平成28年8月1日発行



今回の表紙(ぬりえ)



中部幼稚園・保育園  
おうちりおまさん  
の作品

## おもな内容

第2回定例会 **2~3**

ここが聞きたい【一般質問】 **4~7**

行政報告 **8~9**

議員トピックス **10**

議会目誌 **11**





平成28年第2回木曾岬町議会定例会は、6月10日から17日までの8日間の会期で開催されました。

今回の定例会には、承認案件 補正予算案、条例改正案など議案3件、報告案件3件、人事同意案件1件の合計7件の議案等について審議されました。

会期日程の各内容は次のとおりです。

10日の開会日には、会期の決定を行った後に、加藤町長から行政報告を受け、その後、承認案件可決後、議案2件を上程し、町長の提案理由説明と所管課長の詳細な説明を受けました。次に、報告議案3件が上程され、提案理由説明と詳細説明を受けて、人事同意案件を同意後、初日の審議を終え、散会しました。

15日には一般質問が行われ、3名の議員が質問に立ちました。(質問内容は「ここが聞きたい一般質問」に掲載)この一般質問を終えた後には議案および報告案それぞれの質疑が行われ、審議を経た後に散会しました。

17日の最終日には、初日に上程された議案2件について、討論・採決を行い、全議案ともに賛成多数により原案のとおり可決後、追加議案1件も原案のとおり可決し、第2回定例会を閉会しました。

# 平成28年 第2回 木曾岬町議会 定例会

## 報告案件

議件名（議案の内容）

### 報告第1号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計継続費繰越計算書の報告について

※平成27年度予算のうち、継続費として平成28年度へ繰越した金額39,470,064円の継続費繰越計算書の報告が行われました。

内訳として、複合型施設建設事業における平成27年度の年割額の支出ができなかった支出額が継続費として繰越されています。

### 報告第2号

平成27年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

※平成27年度予算のうち、繰越明許費として平成28年度へ繰越した予算47,300千円の繰越計算書の報告が行われました。

内容は、まち、ひと、しごと創生事業及び高度情報処理対策事業の繰越事業の明細が報告されました。

### 報告第3号

平成28年度木曾岬町土地開発公社事業計画及び会計予算並びに平成27年度木曾岬町土地開発公社事業報告及び会計決算報告について

※地方自治法の規定により、町が出資している木曾岬町土地開発公社の予算、決算、経営状況などが報告されました。

## 同意議案

議件名（議案の内容）

### 同意第2号

木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

※木曾岬町固定資産評価審査委員会委員 白木 悦樹氏を引き続き選任しようとして同意を求め可決されました。

## 追加議案

議件名（議案の内容）

### 議案第38号

木曾岬町複合型施設行政棟備品購入契約について

※木曾岬町複合型施設行政棟備品購入契約について地方自治法及び議会の議決に付すべき契約のため議会の同意を求め可決されました。

議案は全て全会一致で賛成となりました。

※議長は裁決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長採決となります。

※紙面の都合で掲載を割愛いたしておりますが、反対討論並びに賛成討論の内容は、木曾岬町議会会議録（北部公民館にて公表）をご覧ください。

## 議事内容

## 可決した議案 ◎執行部提案

議件名（議案の内容）

### 承認第3号

専決処分事項の承認を求めることについて

※既決予算額に歳入歳出それぞれ800千円を追加し、予算総額を4,650,800千円とする補正予算です。三重海区漁業調整委員会委員の補欠選挙が6月15日に執行されることとなり選挙経費の予算措置が必要となったため、地方自治法第179第1項の規定により専決処分を行ったので、これを報告し、承認を求めたものです。

### 議案第36号

平成28年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第2号）について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ33,200千円を追加し、予算総額を4,684,000千円とする補正予算です。「まち・ひと・しごと創生事業」の関連予算では、加速化交付金の決定を受け、予算化した繰越事業と当初予算との調整を図るほか、担い手農家への経営強化支援や地域の土地改良施設の維持、長寿命化対策の関連予算を計上したものです。

主な補正内容は次のとおりです。

- ・議員報酬  
△2,310,000円
- ・まち・ひと・しごと創生事業  
△3,419,000円
- ・担い手確保・経営強化支援事業補助金  
26,308,000円
- ・ふれあい広場実行委員会補助金  
△3,800,000円
- ・多面的機能支払事業負担金  
9,094,000円
- ・ボラ倶楽部補助金  
△1,400,000円 など

### 議案第37号

木曾岬町行政不服審査会条例の一部を改正する条例の制定について

※行政不服審査会委員等への守秘義務に対する罰則規定が定められたことにより、本条例の一部改正が行われました。



聞いて聞きたい

# 一般質問

この記事は、通告順に掲載し、  
質問議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、  
一般質問の全文は

木曾岬町議会会議録（北部公民館にて公表で  
ご覧いただけます。

町政のゆくえは…

## 3名の議員が質問

↑シ数 5 — 9 番議席 伊藤 正 議員

- 企業誘致で町に活力を
- 多目的コミュニティーセンター（仮称）の構想は

↑シ数 6 — 2 番議席 伊藤 守 議員

- 環境美化について

↑シ数 7 — 5 番議席 三輪 一雅 議員

- ふるさと納税の今後の計画は
- 職員の採用計画について

Q&A





# 一般質問

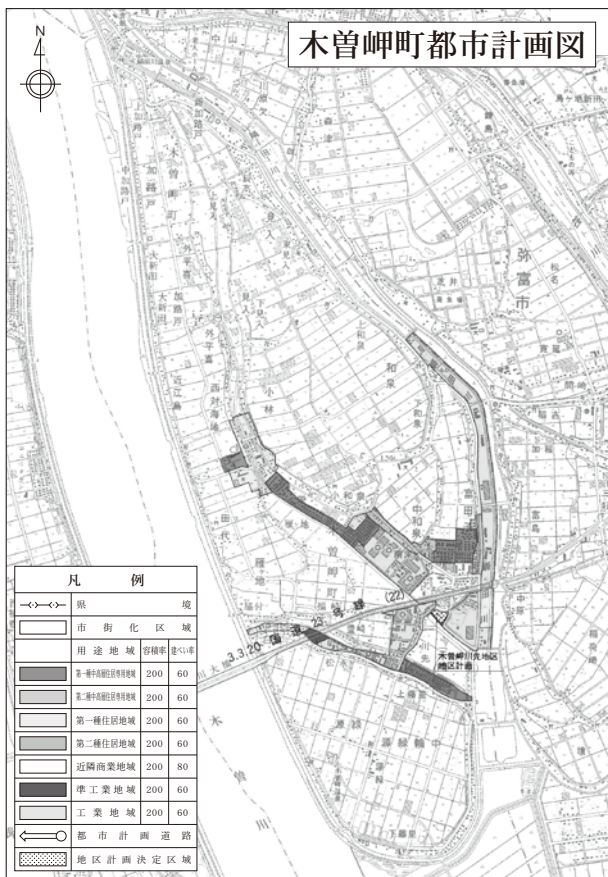


9番議席 **伊藤 正** 議員

## 企業誘致で町に活力を

具体性のある要望であれば  
申し出を頂きたい

町長



都市計画図

### 質問

町長は公約で、企業誘致の促進を掲げられ、町としても人口ビジョン・総合戦略で工業用地への企業誘致数を平成31年度までに新規5件とされていますが、昨年度当町へ進出したとの企業の問い合わせに対し、用地がなく受け入れられないとの声を聞きました。こうした中、目標はどのように達成されますか。そして、もっと工場進出が促進されるような都市計画にしてほしいという住民の声もありますが、どのように考えておられますか。

### 答弁

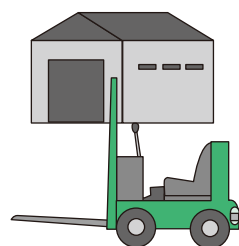
未利用地が各所に点在していることから、供給が十分とは言えない状況となっております。新たに産業用地などを確保する方法としては、市街化区域の変更など都市計画法に基づくものや、地方自治体が条例を制定することで用途地域に左右されることなく、地域のまちづくりのルールを町みずからが定めることのできる地区計画の制度もあります。そして、発言にもありました都市計画の要望につきましては、地域の皆さんがどのような

事業を要望され、その事業効果とリスクなどを含め、具体性のある要望であれば、直ちに申し出を頂きたい。

## 多目的コミュニティーセンター (仮称)の構想は

まずは、複合型施設、教育文化棟等で進めている

町長



### 質問

第5次総合計画に含まれる地域自治・協働の主要事業の中に、多目的コミュニティーセンター(仮称)の構想があり、町は平成26年度から平成28年度までに避難所を兼ねた多目的コミュニティーセンター(仮称)の基本計画を策定することとあります。

### 答弁

の最終年度となっております、どのような構想となっておりますか。

地域コミュニティーセンターの機能の確保につきましては、現在建設が進んでいます木曾岬ステーション及び図書館、町民ホールを利用していただくことで補完できることとなり、多目的コミュニティーセンターの計画自体は、優先度を下げる形となりました。

ことしはそ





2番議席 伊藤 守 議員

# 環境美化について

## 県と調査しながら、環境美化に努めてまいります 町長

### 質問

環境美化について。外来種である通称ミドリガメ(アカミミガメ)について、町内全域に繁殖し、自然環境や生き物の生態系を崩しているように思いますが。また仮称堺港に関して、愛知県側に比べると環境美化が損なわれています。また木曾岬町全域を見てみますと、自動車の解体施設や(ード)等が目立ってきています。前回も同じ質問をしましたが、その後の進捗状況をお伺いします。

### 答弁

1点目のアカミミガメの件ですが、当町におきましても幹線水路などで大きく繁殖しているのが見受けられます。現在事業を実施している地域用水環境整備事業におきまして、この生態系が幹線水路への水質に対する影響についても検討していただくよう、三重県に申し入れを行ったところであります。



屋や所有者不明の船舶などの対応につきまして、今後も三重県や漁業組合とも協議を重ねながら、引き続き環境美化に努めていきたいと考えています。

最後に、自動車解体施設(ヤード)等を設置する場合の条件に付いて、許可後の業務内容につきましては適正に行っているかどうか、年に1回、三重県警察本部、桑名警察署、名古屋入国管理局、名古屋税関、三重県、

### 再々質問

特にヤード等ですけれども、町にそういったものが山ほどできるとそこに定住したくなるのだろうか。ヤードがあつてきれいだと思う人がいるのかと。美観という点から見てどのように考えておられますか。

### 再々答弁

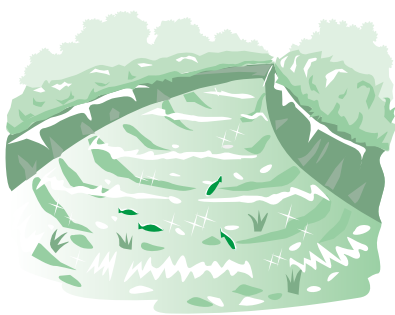
町長

それぞれ関係機関と合同で立入調査をさせていただいて、違法な実態があれば当然指導改善を求めるということでございます。また周辺の環境のことについても環境美化に努めていきたいと考えております。

### 再答弁

産業課長

ハード的な発生源対策とあわせて自然環境を戻すような工夫というのでも、今後検討委員会のほうで考えていくことではないかと考えます。





# 一般質問



5番議員 **三輪一雅** 議員

## ふるさとの納税の今後の計画は？

国の動向や近隣市町の状況を注視しながら活用を検討していきます——町長

### 質問

ふるさと納税の限度額が実質2倍に引き上げられ、またワンストップ特例制度が設けられたことにより、一層ふるさと納税の利用者が増えており全国的にこの制度に力を入れています。木曾岬町も特産品の贈呈を昨年から始めたところですが、実績は芳しい物ではありませんでした。これらを踏まえつつ今後どのように取り組んでいきますか。

### 答弁

ふるさと納税は個人住民税の寄付金控除制度の拡充から、自身のふるさとや応援したい自治体に対して寄付を行うと2千円を超える部分につきましては一定の上限まで所得税、個人住民税が全額控除される制度です。

関心が高まっています。が、受益と負担に着目した地方税の原則に反する、あるいは地方税収の偏在や財政力格差は地方交付税で調整すべきなどの意見がある中で、返礼品が高価・高額となる特典合戦が過熱、返礼品がネットオークション



で転売されることなどがあり国からも良識ある対応を自治体に求める要請があるところです。

当町では平成27年度から特産品のお礼の品を採用したことから徐々に増えています。豊かな地域社会の形成や社会福祉の増進を図る貴重な財源となることを踏まえ、今後も良識を持った範囲において取り組んでいきたい。また国の動向や近隣市町の動向を注視しながら活用を検討していきます。

### 再質問

税のあり方として私自身も疑問を感じない訳ではありません。

しかし、この制度を否定する自治体は少数派であり、数十億を寄付して頂いている地方も出ています。木曾岬町の昨年度の頂いた寄付額は70万円、当町在住の方が他の地方へ寄付をされた額が124万円です。これは税収が他へ流れているわけであり、今後流出が倍増するのではと危惧をします。桑名市では頂いた寄付額が3億円を突破。返礼品の数も木曾岬町の数十倍です。当町もしっかり対策をしていくべきでは。

### 再答弁

政務統括監

当町では、とまとだね、お米、メロンを返礼品としています。特産品としてはトマトや海苔などもございますが、JAさん、漁協さんとも調整を図っているものの個別配送等をしていない事情などもあります。配送を持ったお土産物店があるようなところは返礼品の準備がしやすいと思うのですが、当町ではなかなか難しい現状があるところです。

※他に「職員の採用計画について」を質問しました。



# 行政報告

要旨



加藤 隆 町長

おはようございます。

早いもので、熊本県地方を襲った巨大地震から、間もなく2ヶ月になろうとしています。亡くなられた

方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、今なお大変なご不自由やご苦勞をなさっておられる被災地の皆さんに心からお見舞い申し上げます次第であります。

先日、東海地方も梅雨入りが発表されましたが、例年と異なり、今年は何故か、未だに台風の発生がなく、逆に台風が不気味であり、心配であります。

さて本日、平成28年第2

回木曾岬町議会定例会を招集しましたところ、全議員のご出席を賜わり誠にありがとうございます。

今期定例会に上程いただきました議案は、一般会計補正予算案など、いずれも重要な案件でございます。十分なご審議を、お願いいたします。

それでは早速ですが、議長の許可をいただきましたので行政報告をいたします。

去る5月26日、27日の2日間にわたり伊勢志摩で開催された主要先進国首脳会議「伊勢志摩サミット」は、

国民は無論のこと、世界が注目するなかで安全かつ成功裡に閉幕いたしました。

三重県でのサミット開催は、まず各国首脳が伊勢神宮を訪問され、開催地の志摩市賢島の素晴らしい景観をご覧いただくことができ各メディアが世界に発信してくれました。

この事業では、国際観光地としてのレベルアップや知名度の向上だけでなく、地域の総合力向上につながるチャンスと捉え、サミットによる効果を伊勢志摩だけでなく県全体に波及させるため、官民一体となった

「伊勢志摩サミット三重県民会議」を中心に協賛、応援、寄付の募集や、クリーンアップ作戦、花いっぱい運動等が県内で展開されました。

当町におきましてもスポーツ少年団の子ども達が町内のゴミ拾いを通して「クリーンアップ作戦」に参加をしてくれましたし、5月8日には「おもてなし大作戦」として「花いっぱい運動」の花苗を、例年行っているグリーンカーテン苗木の配付と合わせて行い、大盛況に終わり、多くの方々にお届けすることができま



した。

この度の伊勢志摩サミットでは、サミット期間中のG7各国首脳への食事ももちろんのこと、訪れる報道関係者の方々への食事に対しても、三重県内の豊富な食材を用いた料理でおもてなしがコンセプトとされたことから、多彩な料理や県内特産品が提供され紹介されました。

当町も生産者団体にお願いし「トマトと海苔」を、サミットへの町特産品として提供させていただきました。これら特産品は国際メディアセンターでPRされ、多くの報道関係者の方々に召し上がっていただきました。

特に「とまりッチ」は、味が濃く食感もよく、その上知事に命名していただいたこともあり、木曾岬のトマトは一段と評価が高く、

世界にPRできたと感じています。

一方、4月に桑名市長島リゾートを主会場に開催された「ジュニアサミット」では、各地域の伝統、文化等、体験しいただき、交流を一層深めていただくことができたと感じています。

木曾岬町では、広報紙の表紙にも使いましたが、中学校の皆さんがウエルカムボードに「絆」と揮毫してくれました。ボードは桑名市の9校と木曾岬町の1校で7か国を分担したもので、校舎の花壇の前やゆかたの着方教室の時、トマッピートと一緒に物など5枚を作成しインターネットなどで公開されました。生徒は、以前から外務省大臣官房のサミット準備室の方から講演も聞いていたので感心が高く、自分たちがジュニアサミットに少しでも参加し

ているという気持ちが出てきたと感想を聞いています。

このような事業を契機として、木曾岬町並びに町の特産品を県内外に広く情報を発信して町の産業振興を図り、更には、本年3月に策定した「木曾岬町人口ビジョン・総合戦略」に掲げ

る重点事業への展開へと進め、地域の活性化、「まち・ひと・しごと創生の実現」に向けて取り組んでいきます。

今後とも、皆様方になお一層のご理解とご協力をお願いいたします。行政報告いたします。

## 議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも傍聴することができますので、お気軽にお越しください。

皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。

本会議の当日、庁舎2階の傍聴席入口で受付しています。受付は、ご住所とお名前を記入していただくだけです。

次回、9月定例会、本会議の予定です。

- 9月 7日(水) 午前9時 開会、議案上程を予定しています。
- 9月16日(金) 午前9時 一般質問を予定しています。
- 9月20日(火) 午前9時 議案採決、閉会を予定しています。

なお、各日程等は変更する場合がございますので、お手数ですが議会事務局までお問合せください。

問 合 せ 先

議会事務局 TEL68-6108

## みなさまのご意見を募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。

また、要望など、どのような内容でも結構です。

ご意見、ご質問をお寄せください。

提 出 先

議会広報常任委員会(議会事務局) TEL68-6108

# 議員トピックス



## 第6回全国コンパクトタウン議会サミットに参加しました

5月19日～20日にかけて、山口県和木町で開催されました、第6回全国コンパクトタウン議会サミットに議員研修として参加しました。この全国コンパクトタウン議会サミットは、2009年に香川県宇多津町で初めて開催され、面積が20平方キロメートル以下の94自治体が対象で今年は当町を含め11団体の町議会が参加しました。

「小さいまちだから誇れるもの」や「小さいまちだから悩むこと」などの共有する自治体で連携を図っています。

始めに、基調講演があり「人口減少時代をむかえた小規模議会の突破力」その後、分科会に分かれ、防災、地域創生や議会改革の分野で話あわれました。その後、意見交換が行われ、他町での取り組みなど、大いに参考となり、他町議員との交流もでき、実り多い研修でした。



## 平成28年度全国町村議会議長・副議長研修会が開催されました

5月30日(月)～31日(火)、東京都中野区の「中野サンプラザホール」で、平成28年度全国町村議会議長・副議長研修会が開催され、伊藤好博議長・服部英二夫副議長が出席されました。

この研修会は、副題を「これからの町村議会を考える」として、初日には、「地方議会の役割と改革の行方」-「住民自治の根幹をなす議会」の作動-とした基調講演や町議会特別表彰議会から発表、シンポジウム、2日目には、「地域経済の活性化が、日本の元気を

を取り戻す」、「今後の政局・政治の動きを読む！」と題した各講演が行われました。両日ともに、全国の各町村より参加された約1,700人の議長・副議長により会場は熱気に包まれ、質疑では活発な議論が行われました。

改めて、地方議会の突破力や地方政治の重要性(地方行政重視の時代からの転換)や議会改革の意味を考える機会となりました。

## 行政視察を実施しました



3階の打設状況



←1階ピロティーの状況

6月17日(金)、木曾岬町議会第2回定例会の閉会後に、行政視察に複合型施設の建築状況を視察しました。現在、2階に免震装置も取り付けられ、1階のピロティーの型枠が外れ、コンクリートの打設状況や2階事務所の広さ、3階の鉄筋状況を確認し、4階までの高さには目を見張るものがありました。計画上の遅れもなく、順調な建築が行われていることが確認できました。



# 議会日誌

## 2016 4月

- 21日●平成28年度北勢5町議会議長総会に伊藤浩議長出席
- 25日●桑名・員弁清掃組合出納検査(桑名市)に伊藤浩議長出席
- 30日●上村幹夫議員辞職

## 2016 5月

- 6日●議員懇談会
- 10日●桑名広域清掃事業組合視察に伊藤浩議長出席
- 11日●議会運営委員会
- 17日●平成28年第1回臨時会開催、正・副議長改選
- 18日●例月出納検査に三輪一雅監査委員出席
  - 三重県町村議会議長会理事会(津市)に伊藤好博議長出席
- 19日～20日
  - 第6回全国コンパクトタウン議会サミットに山口県和木町へ議会議員として議員多数参加
- 23日●桑名・員弁広域連合第2回臨時会(桑名市)へ伊藤好博議長出席
  - 桑名広域清掃事業組合第2回臨時会(桑名市)へ伊藤好博議長出席
- 25日●木曾岬町商工会総会に伊藤好博議長、伊藤律雄総務建設常任委員長出席
  - 木曾岬町土地開発公社理事会開催
  - 桑名・員弁清掃組合出納検査(桑名市)に伊藤好博議長出席
- 29日●木曾三川連合総合水防演習(サリオパーク祖父江)に議長出席
- 30日●木曾岬神社春季例祭に議員多数出席
- 30日～31日
  - 平成28年度町村議会議長・副議長研修会(東京都内)に伊藤好博議長、服部芙二夫副議長出席
- 31日●木曾岬町青少年育成町民会議総会に伊藤好博議長出席

## 2016 6月

- 3日●議会運営委員会
  - 平成28年度木曾岬町文化協会総会に伊藤好博議長出席
- 4日●木曾岬町遺族会追悼法要に伊藤好博議員(議長)、三輪一雅議員出席
- 9日●桑名地区生活安全協会総会に伊藤好博議長出席
- 10日●平成28年第2回定例会(初日)
  - 議員懇談会
  - 2016年国民平和大行進(面談)に伊藤好博議長出席
- 15日●平成28年第2回定例会(一般質問日)
  - 議会運営委員会
- 16日●例月出納検査に三輪一雅監査委員出席
- 19日●平成28年第2回定例会(最終日)
  - 行政視察
- 24日●桑名・員弁清掃組合出納検査(桑名市)に伊藤好博議長出席

## 2016 7月

- 8日●議会広報常任委員会(第1回)開催
- 11日～12日
  - 三重県町村議会議長会理事会・行政視察(南勢管内)に伊藤好博議長出席
- 13日●例月出納検査に三輪一雅監査委員出席
  - 水道事業会計決算審査
- 19日●議会広報常任委員会(第2回)開催
- 20日・21日・22日
  - 平成27年度一般会計及び特別会計決算審査に三輪一雅監査委員出席

## 編集後記

我が家のツバメの巣にツバメのカップルが来て巣をリフォームして5羽の雛がかえり、巣立った。

昔からツバメが巣を作ると縁起がいいと言われてきた。「繁栄する」とか「病人が出ない」とか。

子育てを一生懸命している姿を見ているだけで、幸せな気持ちにしてくれる。

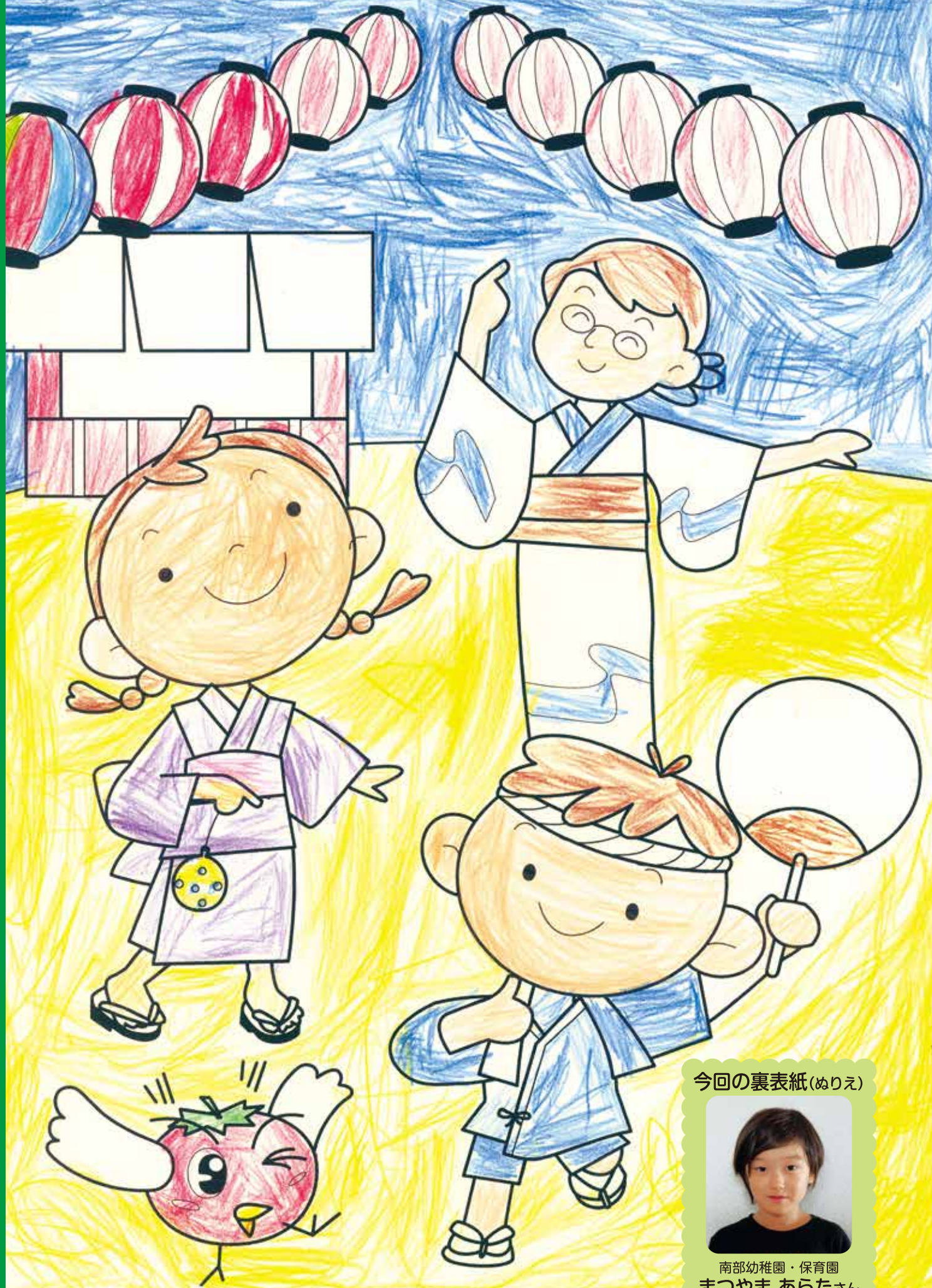
高度に発達した人間社会は多くのことを自然の中から学ばなければならないと思います。

ここに、第88号の議会だよりをお届けします。紙面へのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会広報常任委員会一同







今回の裏表紙(めりえ)



南部幼稚園・保育園  
まつやま あらたさん  
の作品